

女性グループ

札幌市男女共同参画センター



札幌市男女共同参画センター
久世ののか

2022年
3月13日



私たちについて

01

担当団体は
札幌市男女共同参画
センター

02

ジェンダー平等の実現
がキーワード

03

具体的な未来を
描くことが目標

女性グループ



全3回の ミーティング

| 01 わたしとジェンダーを知る

| 02 半径5mの関係にあるジェンダーを考える

| 03 シナリオプランニングで未来を描き始める





対話の成果

1 わたしを知る

女で良かったこと 男で良かったこと

女で良かったこと

- 女性支援が多い
- ファッションを楽しめる
- おごってもらえる
- 主婦という肩書でも何も言われない

男で良かったこと

- 収入多い
- 部屋が汚くてもいい
- 外見についてコメントを言われない
- クレーム対応の違い（なめられない）



本当に“良い”ことなのだろうか？

おごってもらえる/守ってもらえる

女は稼ぎが少ない、弱い存在

女性支援が多い

支援が必要な存在になっている

戦争に行かなくて良い

男でも行きたくない

働いていなくて何も言われない

女は家にいることが当然とされている

おしゃれを楽しめる

男性も楽しむ。義務感の裏返し？

第2回 半径 5 m の関係で

前提にある価値観や
女性たちが

期待されてきたことは？

第2回 女性が周囲から期待されていること

「活躍」すること・・・会社の取り組みをPRするため

「フネさん」であること・・・家にいて優しく常に家族のために働く

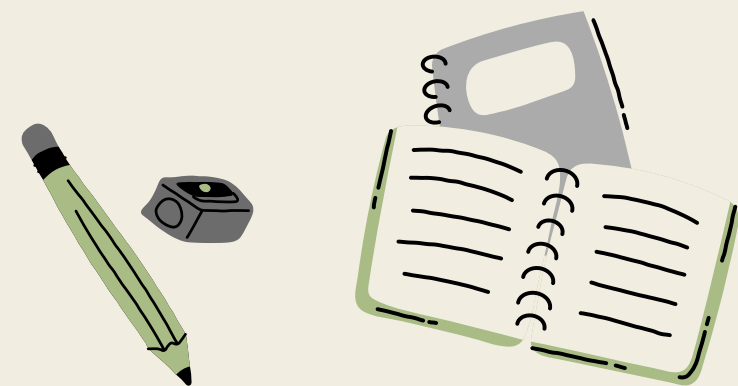
癒すポジション・・・疲れた男性を癒し、励ます

常に健康でいて、家族や子どものケアをすることを期待されているという声も多くあった

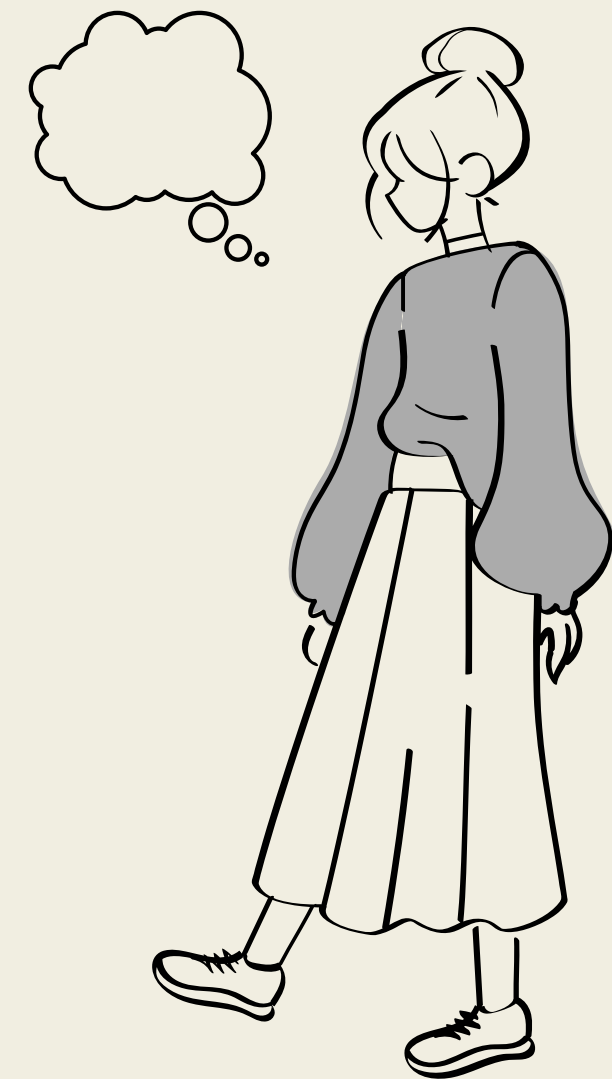
自分で生きていく力を期待されない・弱さを期待される

・・・男性より優位に立たないこと

自分自身にステレオタイプの女性像を内面化しているので、自身に矛盾を感じるという声もあった。



第1回・第2回 を終えて



女性同士でも
ジェンダーのことを
話すのは
勇気がいる・・・



望む未来

ジェンダーに関することを

イキイキと話すことが

出来る社会

第3回 未来を描く

シナリオプランニング

期限 10年後

必要な意思決定

ジェンダーの話を生き生きと話すことができる社会の実現のために、
私たちは何が必要か？

次の対話へ

もっと多くの女性たちと
シナリオプランニングを続けることで
突破口を見つけ、
すべての女性が望む未来を実現する